

委員会・部会が各事業実施 目標通り順調に運営

東部ファスナー協同組合

理事長 望月紀人

新年明けましておめでとうございます。皆様には東部ファスナー協同組合に対し多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、平成二十九年が皆様に幸多き年となりますよう祈念致します。

昨年のわが国経済の推移をふり返りますと、成長を実感できる程の動きはなく、設備投資等も低調で、大企業の間接決算は前年比減収減益が多かったように感じます。難しい交渉を重ねてようやくまとまったかに見えたTPPも、今後どうなるのか極めて不透明。このような状況ではありますが、総合的に見れば比較のおだやかな一年であったのではないのでしょうか。

東部ファスナー協同組合におきましては、各委員会・部会が当初の計画に沿って諸事業を実施し、組合員をはじめ関係各位の多大なご協力を得て目標通りの成果を収め順調に運営することが出来ました。深く感謝申し上げます。

本年度の総会は第70期の節目となります。設立時から今日までの間に、ねじ産業を取り巻く環境は大きく変わりましたが、協同組合の基本理念である「相互扶助」の精神のもと、先輩諸氏が積み重ねて来られた歴史と伝統を踏襲しつつ、新しい時代に合った新しい事業も模索して行かなければと思います。

現在実施している事業のあらましを列举しますと、日本ねじ工業協会への積極参加（ねじ製造技能検定に関する事業などへの参加）、流通改善事業（東浜協との商工懇談会）、各種研修会及び見学会、福利厚生事業（慶弔、釣り大会など）、東京都鉄二健康保険への運営協力、中小企業倒産防止共済制度への加入、品種別部会による交流と情報交換などです。

これら事業の具体的な実施内容につきましては、組合ホームページ（www.tobu-fastener.jp）等の広報活動によって周知を図っており、組合のメリットを発信することが組合員の増強につながればと願っております。魅力ある有意義な事業を実施して行くために、組合員皆様をはじめ各位から積極的なアイデア・提案を寄せて頂きたく、お願い申し上げます。

最後に、大変残念な事ですが、長年にわたり当組合の事務局をつとめて下さった二瓶久氏が昨年9月に逝去されました。後任の齋藤氏がしっかりと業務を引き継いでおりますので組合運営には何も心配はありません。本年も各事業の一層の充実に努める所存であり、皆々様の更なるご支援ご協力をお願い致します。